

山形森林管理署 最上支署

～ 豪雪地を考慮したデザインと利便性 ～

【東北地方整備局 営繕部】

【設計概要】

（外観・外構計画）

外観の高く設定された腰壁や、片流れの勾配屋根形状と深い軒の出は、この地域の豪雪を強く意識したデザインとしています。

また、外壁が単調とならないよう、腰壁上部を杉板張りや2色の窯業系外壁、金属系外壁材を採用して分節化を図っています。

配置では、庁舎を敷地中央とし、玄関側に駐車場、庁舎裏側に堆雪場を設けるなど、庁舎利用者の利便性と多雪地域に配慮した計画としています。

（平面・空間構成）

庁舎の玄関ホールを中心に、管理署事務室、会議室、大沢森林事務所を配置し、利用形態に応じた諸室を明確にゾーニングした上で、シンプルな平面にまとめ、利便性・効率性の向上に配慮した計画としています。



〔前面道路から庁舎南西側を望む〕

構造：木造 平屋建

延べ面積：551㎡

完成年度：平成30年度



〔玄関廻りは構造材を現し印象的に見せるデザイン〕



〔木の香りで出迎える玄関ホール〕



〔フレキシブル性を考慮した事務室空間〕